



道建労協

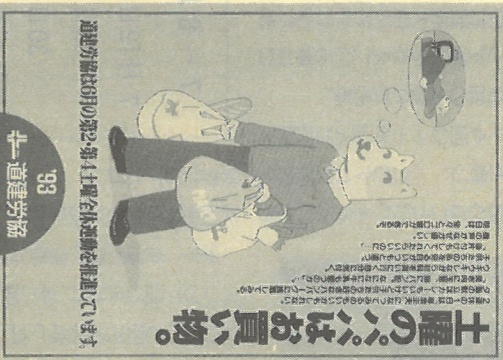
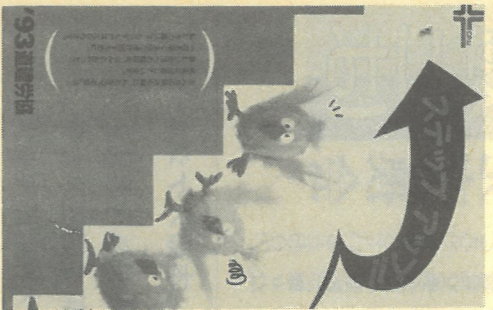
Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104 東京都中央区京橋1-19-11
(日本舗道労働組合内)
電話 03(35662)5857
発行人 宮崎直史
編集人 齊藤直史

魅力産業めざして

第8回定期大会／7月23日／ホテルラングラッポ



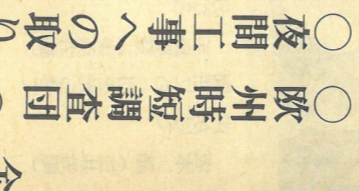
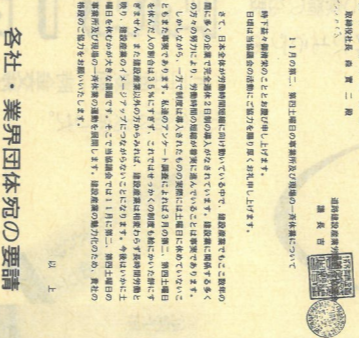
10単組九千人

われわれは社会資本整備という重要な役割を担い経済の活性化等に貢献している。われわれの産業はその社会的貢献度に応じ、そこに働く者の社会的・経済的地位の向上を図り、働きがいがあり、いきいきとした産業へと姿をいかねばならない。道路を建設するという物作りの尊厳、すばらしさを後世につぎ社会への貢献をしていけるべきである。

建設産業を魅力あるものに、人がいきいきと暮らす産業、人を大切にする産業へと姿をいじることが肝要である。道建労協は10単組9千人余の組織であり、設立以来7年間の組合員の英知と行動により、魅力ある組織とすべく、次の基本的取り組みにより積極的な活動を進めていく。

92年の主な活動

- 第一・第四土曜日の事業所全体運動 (写真左上)
- 欧州時短調査団 (写真下)
- 夜間工事への取り組み (写真右)



1993年度 取り組み

賃金、労働時間、制度、福祉等の総合的労働条件の引き上げ
賃金—実質的な生活水準の向上
労働時間—現業部門が実際に休めるような環境づくり
安全対策—労働災害実態調査の実施、安全ポスター標語の作成
福祉対策—企業福祉の改善

組織の拡大と充実

執行体制の充実と協議会活動の拡大
地方協議会の充実—地方の加盟単組の交流や活動の活性化
労使懇談会の実施—労使で共通認識・共同解決
組織の拡大—未組織企業へのアプローチ、JVオルグ

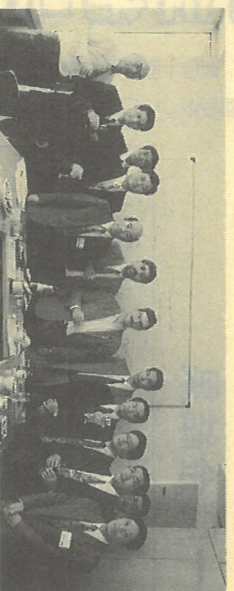
産業政策活動

産業に関わる諸問題を把握検討し、産業政策を確立
建設産労懇等の友好組織と共同課題について、共同して問題解決
建設省を始めとして関係諸官庁への活動、関係諸団体(道建協、アスファルト合材協会)と定期的な交流

教宣・調査活動の充実

機関紙
タイムリ—に組合員の声を反映(年6回の発行)
ポスター
問題意識高揚の一助
年次調査時報の充実
諸制度の再調査、労働時間、安全衛生の実態調査

時短に向けて



11月18日(第二)、第三土曜日の事業所及び職場の一斉集まりを実施し、道建労協の活動の充実と労働条件の向上を期し、取り組みを推進してまいります。

選挙公示

平成5年7月12日
道路建設産業労働組合協議会 議員会
役員・会計監事選挙管理委員会
委員長 田佳郎
委員 長 田佳郎

役職	職名	候補者名	単組名
議長	局長	吉川光人	日本舗道労働組合
副議長	議長	宮崎久史	前田道路労働組合
中央執行委員	委員	久田光功	東垂道路労働組合
中央執行委員	委員	松本秀夫	大成ロテック社員組合
中央執行委員	委員	梶口保隆	大林道路職員組合
中央執行委員	委員	野口恭介	全大有労働組合
中央執行委員	委員	庄司松平	三井道路労働組合
中央執行委員	委員	藤村直次	不動建設労働組合
中央執行委員	委員	本村昌村	フジタ道路職員組合
中央執行委員	委員	左田一茂	日本舗道工業社員労働組合
中央執行委員	委員	村田一茂	東京舗装工業社員労働組合
中央執行委員	委員	村田一茂	大林道路職員組合
中央執行委員	委員	村田一茂	大成ロテック社員組合

